

2010年度

科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	小西 宏幸		
配当	人社4	コード	80371
開期	集中通年	講時	集中0限
		単位数	4
授業テーマ	産業心理学領域における諸問題の論文作成		
目的と概要	おそらく人生初となる本格的な科学論文を主体的に作成・完成する。		
成績評価法	授業中の発表(例えば、発表内容や発表レジュメの出来具合で50%)や課題レポート(20%)、ゼミ生間の質疑応答の内容(30%)などによって評定します。		
テキスト	特に、指定しません。		
参考書	その都度、紹介します。		
履修に 当たっての 注意・助言	演習は講義とは異なり、学生の積極性がなければ成立しません。ゼミ発表は、社会人に必要なプレゼンの練習ぐらいの意識をもってください。卒業論文はどんな出来栄でも出せばいいというものではなく、最低、3回以上の修正や加筆を教員の指示の下、行ってください。当然、期日までに「しない」「できない」状況では、卒業年度が遅れると覚悟してください。		
講義計画			
<p>前期に、最低でもデータ収集とハンドリングは終了しておくこと。後期では、最低でも11月下旬まで下書きが終了していること。これが達成できなければ完成が翌年にもちこしになる可能性が高いです。</p> <p>勿論、卒業論文のヒントになるような話題も挿入しながら進みたいと考えています。</p> <p>ゼミ生の進行状況によって、変動しうるが予定は以下の通り</p> <p>第1回～第5回：データ収集の計画と実施</p> <p>第6回～第10回：データ・ハンドリングと分析方法の検討</p> <p>第11回～第15回：研究方法（デザイン）の決定</p> <p>第16回～第20回：結果とそれに関する考察</p> <p>第21回～第25回：修正・追加事項があればその補強</p> <p>第26回～第30回：論文完成時期（今後の課題まで文章化して校正する）</p>			